



特定非営利活動法人・印旛沼広域環境研究会
〒285-0837 佐倉市王子台5-6-33
TEL FAX: 043-462-1105
E-mail: npo-inba@ar.wakwak.com

2023年1月号

発行人 高山久治
印刷 NPOいんば

No. 34

NHK「小さな旅～水面に時は流れ～」

2022年6月12日の放映で当会の長年の活動が取り上げられ全国版で紹介されました。



印旛沼水質浄化の推進として、小学校の池に水草を移植し増やしたら印旛沼本体にお里帰りさせるという「水草バンクシステム」を構築して以来、12校に広がっています。

今年度は、東日本大震災後に一時中断していた佐倉市立小竹小学校に生き残っていたアサザを見つけました。まちづくり協議会の方からの連絡で、新たに他校からアサザを移植し13校目の再開を目指し、子供たちと印旛沼を繋ぐ学習を計画していました。

しかし「笠井記念舟戸水草園」のアサザ池がヨシに浸食され、人力での除去に限界を感じていたため、【重機を導入して掘起し、ヨシに絡んでいるアサザを取り分けてアサザだけを水草園に戻す】という、大きな試みの事業計画を立てていました。なお、今年度の事業はセブンイレブン記念財団、千葉県環境財団、公益財団法人佐倉緑の基金などの助成金をいただいて実施するものです。

4月上旬 NHK から突然連絡が入り、NPO いんばの活動について聞きたいとのことでした。上記のことを実施する予定であることを話したところ、後日番組として取り上げてくれることになりました。6月12日放映、5月中にロケを行うということで俄かに忙しくなりました。

水草園の掘起しは予定を早め、新築建設(会員企業)の社長と日程を調整、小竹小学校、寺崎小学校にはロケの許可を取ったり、校長先生たちと打ち合わせをしたり、ディレクターからはバンクシステムの古い写真は無いかと聞かれて探したり(使われなかった)、私の部屋はひと月間アルバムや資料が広がったままでした。

例年5月に開花する寺崎小学校のアサザを小竹小学校に移植する予定でしたので、開花には本当に気をもみました。特にGWは異常に気温が低く、ロケ最終日の5月17日に咲いてくれるかと何度か様子を見に学校を訪問しました。ディレクターと『池にお湯を入れたいくらいです』と冗談も出ました。無事3日間のロケが終わり番組を見るまではどんな映像か心配は尽きませんでした。番組をご覧下さった方々から良い番組だったとの応援メッセージを沢山いただきました。関係の皆様には心から感謝申し上げます。大変お疲れさまでした。



笠井記念舟戸水草園の掘起し



中川緑アナウンサーに声をかけられて



ヨシとアサザを振り分ける会員



中川緑 アナウンサーの取材



小竹小学校でアサザ移植を撮影するクルー



小竹小児童が池にアサザを入れました



慎重に沈めます



ふるさと広場水草園



アサザのお話



印旛沼の水質検査の説明を聞く親子



定点観測地点の水とペットボトルの水を
パックテストで水質比較



子供の質問に答える小倉久子講師



← きれいな水

汚れた水 →

編集後記

令和4年度も収束しないコロナ禍の中でしたが、4月にはNHKの取材申し込みがあり事前準備や5月のロケ対応、7月には各小学校の池に植えたアサザ発育状況の巡回訪問、8月には「親子で印旛沼体験」などがあり大いに活動を展開してきました。特にNHK“小さな旅”ではNPOいんばの活動が紹介され、今後の活動を躍進させる励みになっています。（岡本久幸 記）